

Maruka News

2025
JAN
No.
713
マルカニュース

2025年4月4日発行
編集・発行／株式会社マルカ
<http://www.maruka.co.jp>
〒540-0024 大阪市中央区南新町1-2-10
TEL.06-6450-6823



今号に掲載した皆さんの所属は、2025年4月4日現在のものです。
本誌情報の無断転載・複写を禁じます。本誌は、個人情報や社内情報を含むため、取扱いには十分注意をお願いします。

マルカニュース No.713



マルカ

社長メッセージ

飯田 社長



1. 協創と共創

組織とは、共通の目標達成に向けて連携する集合体であり、健全な組織運営の基盤には、メンバー間の相互尊重、および権利と義務のバランスが不可欠となる。

組織は社会や時代の変化に伴い、常に最適化を追求する必要がある。変革の過程では、関係者の利害が衝突し、摩擦が生じることもある。しかし、互いの権利を主張し合うだけでは、問題の解決には至らない。相手の意見に耳を傾け、相互理解を深め協力していく姿勢が重要と考える。これは、協同して新たな価値を共に創造する「協創」の精神を育む原動力となる。

変革には時に不安や抵抗を伴うが、新たな視点と気づきをもたらし、個々の成長と組織の進化を促す好機でもある。既成概念や既得権益に固執することは、成長の機会を阻む大きな壁となるだろう。

2. 改めぬは、過ちなり

失敗は誰にでも起こり得るものである。しかし、その原因を振り返る際に「ルールを知らなかった」と終わらせるのは、少し残念に思う。なぜなら、失敗から学びを得る機会を逃す可能性があるからだ。

当社は、多くの先輩方が培ってきた知恵と経験を企業文化として継承してきた。それは、まるで年輪のように積み重ねられた財産であり、それを具体化したものの一つが、当社の規則（ルール）である。規則は、ただ法律を守るためだけのものではなく、過去の成功と失敗から得た教訓が深く刻まれている。そして、それを守ることで先人たちが築き上げた知識と経験を、自身の糧とすることができる。加えて、規則をただ漫然と守るのではなく、その背景にある理由を深く理解することが、過去から未来へと続くバトンを繋ぐために不可欠な姿勢であろう。

3. 評価と成長

組織で働く私たちにとって、適正な評価を受けることは常に重要なテーマであり、組織と社員の成長を結びつける要素でもある。しかし、評価が公正に行われないケースも残念ながら起こり得る。だからこそ、社員がその可能性を最大限発揮できる評価のあり方を模索することは、経営の重要な使命と捉えている。

最近、「評価してくれる会社へ転職しよう」というテレビCMをよく目にする。自身の能力が正当に評価される環境を求めるのは自然なことであろう。しかし、評価への不満が転職理由となる状況は、企業として貴重な人財を失うだけでなく、残った人財の意欲低下も招き、結果として組織の活力を低下させる恐れがある。このような状況を避けるためにも、上司と部下、社員同士の対話を通じた相互理解が重要である。

評価制度を効果的に活用するには、評価者のスキルアップと、

さらに言うと、私たちは多様な価値観を受け入れ、互いに学ぶ合うことで、共に高め合う組織文化を築いていくことができる。組織文化の融合は容易ではないが、相互理解と尊重をもって新たな文化を「共創」するプロセスを経て、組織はより強く、より魅力的なものへと進化する。

個の利益のみを追求する姿勢では、組織の持続的な成長は望めない。人は「自分たちさえ良ければ」という思考に陥りがちだが、私たちはより広い視野でお客様、そして社会へ貢献できる組織に生まれ変わらねばならない。新たな挑戦を通じて、よりしなやかに力強い組織へ進化できると確信している。

もちろん、時代の変化に応じて規則を見直す必要はあるが、過去の蓄積を安易に否定するのではなく、変化の本質を見極めて必要な修正を行うことが肝要だ。先人の知恵を尊重する保守性と、時代に合わない部分を大胆に変える柔軟性を併せ持つことが、これからの時代に求められる人物像と言える。

規則は私たちを縛るものではなく、有用な指針としてより良い方向へ導く羅針盤となる。過ちを犯した時、その原因を深く掘り下げ、規則に立ち返って自らを省みる。そこに真の成長はある。謙虚に学び続けることを忘れずに、そこで得た知恵と経験を次の世代に伝えていくことを大切にしたい。

評価される側の制度への理解が不可欠となる。評価者は基準の理解や客観的な評価、丁寧なフィードバックを通じて部下の成長を促すスキルが求められる。一方で、被評価者も、評価制度の仕組みや目的を理解し、自身の業務に照らし合わせて適切な自己評価することが必要となる。何より、人の成長を心から願い、支援する姿勢がなければ、真に実効性のある評価は実現しない。評価は単なる業績測定ではなく、個人の成長を促すためのものであらねばならない。

「自身と会社の成長は共にある」という意識を共有し、評価の仕組みと心を連動させることで、制度は組織に真の価値をもたらす。ここでいう心とは、人の成長を強く願い支援する気持ちを指す。評価する側もされる側も、制度への理解を深め、建設的な対話を通じて、より良い制度に磨き上げてもらいたい。

■(株)マルカと(株)ジーネットの統合に関するお知らせ

2024年12月16日付のフルサト・マルカホールディングス(株)「連結子会社の統合に関する基本方針決定のお知らせ」にて公表の通り、2026年1月を目途として、当社と、(株)ジーネットの合併による統合を行うことについての基本方針を決定しております。当該基本方針に基づき、以下のとおり、本統合による会社の新商号、本社所在地、執行役員人事につき決定しましたので、お知らせいたします。

社 名	ユニソル株式会社(英文商号 UNISOL Corporation)
所在地	大阪市中央区南新町 1-2-10

飯田 邦彦	代表取締役 会長
古里 龍平	代表取締役 社長
渡辺 貴久	産業機械事業本部 本部長
大谷 秀典	機工事業本部 本部長
碓 宏一朗	グローバル事業本部 本部長
藤本 泰広	食品事業本部 本部長
神原 英之	管理本部 本部長

※上記体制を中心として本統合に向けた協議を継続し、シナジー創出の枠組の構築を図ります。

※なお、本件につきましては、各社で2025年9月開催予定の取締役会および、同年10月開催予定の株主総会において正式決定される予定です。

※マルカの建設機械部門は分社化する予定です。

(参考)本統合の当事会社の概要(2024年12月16日現在)

(1)名称	株式会社マルカ	株式会社ジーネット
(2)所在地	大阪市中央区南新町2-2-5	大阪市中央区南新町1-2-10
(3)代表者	代表取締役社長 最高経営責任者 飯田 邦彦	取締役社長 古里 龍平
(4)事業内容	工作機械、鍛圧機械、土木・建設機械、 その他の国内販売・輸出入	工作機械、機具・工具、設備機械、 環境機器等の国内販売・輸出入
(5)資本金	400,000千円	420,665千円
(6)設立	1946年12月	1947年8月
(7)従業員数	155名(2024年9月末)	455名(2024年9月末)
(8)決算期	12月31日	12月31日
(9)大株主及び 持株比率	フルサト・マルカホールディングス株式会社 100%	フルサト・マルカホールディングス株式会社 100%

2025 オートモーティブワールド

2025年1月22日～24日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「オートモーティブワールド」は85,430人の来場者を集め、依然電動化ビジネスへの関心の高さを示しています。

■ 第17回 オートモーティブワールド出展しました

当社は、今回で3回目の出展となりました。これまで約3年に渡り、本展示会への出展を含め電動化ビジネス拡大に挑み続けていますが、まだまだ、その余地は残されていると感じます。モーターは比較的親和性が高い従来顧客様との関係が続くケースが多いですが、バッテリー関連においては、ブースで初めてその存在を知る国内の企業様、中国・韓国の企業様の多さに驚きますので、この出展は、電動化ビジネスにも積極的に取り組む「UNISOL」を広く知らせ、新たな潜在顧客様とのコンタクト機会を得るための重要な場であると感じます。また、本展示会の来訪者様は新たな技術、それを提供するメーカーを国内外問わずに探しに来られていますので、来訪者様に対し「未知な有用情報」をご案内でき、如何に「その手があったか!」と思って頂けるかも、重要なポイントになると思います。

この会期中、当社ブースで名刺情報を頂戴した来訪者数は約300名、配布したカタログは約200部にのぼりましたので、得られた情報をUNISOLグループ各社・各拠点と連携し、ビジネス拡大に繋げるべくフォローしていきたいと思います。

出展内容を簡単に紹介します。今回、3つの大型実機可動展示と、グラフィック&部品展示の計4つを出展しています。

先ずは、昨年同様、UNISOLグループのティーエス プレシジョンのご協力によりフォーミング機「PROFORMA SF-S150-8」を実機実動展示。動画と部品展示と併せてヘアピンコイルやバスバーの加工に最適な電動化対応製造設備として訴求しました。

続いて、ジーネット・管製作所が設計製作したロボティクス展示。20kgの可搬重量を誇るUNIVERSAL ROBOTS社の協働ロボット「UR20」を、高精度モーションコントロールと最先端AIビジョンを1台で制御するEureka Robotics社の「Eureka Controller」で動かすデモ展示。セルをピッキング、外観傷検査を

実施後、可否判定して所定位置に整列という、バッテリーモジュール組立工程をイメージした展示です。通路に面したブース正面でガードも無く作業する協働ロボットに多くの方々が足を止めて見入っていましたので、今後のソリューション提案ビジネスに繋がる展示となりました。

3つ目の可動展示は、HEXAGON社の「TubeInspect 8.2 HRC」。これは、ヘアピンコイルやバスバーの複雑な形状を簡単に測定できる3次元形状測定機です。精密測定機ながらもロバストな耐環境構造により加工機の脇に置き、製品測定を現場で実施し直ぐに加工機にフィードバックできる利便性と効率化をアピールしました。

4つ目は、中国メーカーVillo Tech社のバッテリー製造工程に最適化された集塵システムのグラフィックと防爆用部品展示。既に、BYD・CATL等中国大手バッテリーメーカーでの防爆対応含む採用実績と価格競争力が強力なアピールポイントになりました。意外にも防爆用部品に高い関心が寄せられたので潜在的ニーズの発掘に繋がればと期待されますし、「未知な有用情報」のご案内として、機械商社の役割のひとつと再認識した展示でもありました。

最後に、この度の出展について総括します。会期中、ご来訪者様とのコンタクトを通じて、ご来訪目的の多様化を強く感じました。勿論、モーターやバッテリーに関する技術を求めてご来場されていますが、もう少しフレキシブルに周辺技術、例えば、ロボティクス・AIビジョン・搬送効率化・SDVとの連携等、より広範囲な関心になっていると感じました。その視点で、今回のロボティクスのデモ展示は来訪者ニーズの変化に対応したものとなっていたと思います。また、「オートモーティブワールド」への継続的な出展は、顧客動向の定点観測の場、潜在顧客様との新たなコンタクト機会として有意義であると再認識し、来年に向けた魅力ある出展企画をUNISOLグループ各社と一緒に始めたいと思います。

末筆ながら、本出展に際し多大なご協力を頂きました全ての社内外関係者皆様へ、この場をお借りしまして厚く感謝の意を表したいと思います。

(EV推進室 齋藤勝夫 記)



Determination to work abroad



マルカタイ
桑木 伸也

サワーディークラブ!

マルカタイに赴任しました桑木と申します。2012年～16年に続き2度目、またマレーシア、インドネシアと合わせて4回目の海外駐在となります。これまでとは異なり、初めて責任者として赴任する事になりましたので、少しの不安と大きな責任感を持つての船出となりました。

さて直近のタイ経済ですが、自動車業界は主にオートローンの厳格化による新車販売の低迷、また中国メーカーの台頭により日系メーカーのシェアが80%を割り込むなど、大変厳しい状況となっております。

また、近隣のベトナムやフィリピンの人口が1億人を超え更に増えていく中で、タイは2030年頃の7,200万人をピークに減少に転じ、同時期には全人口に占める65歳の割合が20%を超える見通しです。

このような中で、マルカが取り組む自動化、省人化やエンジニアリング及び食品事業をいかに浸透させる事ができるか、まさにユニークソリューションが求められるマーケットであると考えております。

最後に、マルカタイが創立40周年を迎える2028年に向けて、スタッフ一同更なる成長を目指してまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



マルカベトナム
堀 晃輔

『昇悟の機、仰がずんばあるべからず』

高野山金剛峰寺の開祖、弘法大師の言葉です。

“邪念のない心で純粋な熱意と強い願いを持ち続ければ目標到達が見えてくる”と言う意です。

5回目の駐在、且つ3か国目の赴任国ベトナムに赴任するにあたり、今一度この言葉を胸に刻み、基本に立ち返り日々精進を重ねたいと思っております。

振り返ってみますと2002年～2004年のインドネシア、2004年～2009年までの天津、2010年～2016年までの天津、上海、広州と常に右肩上がりの、北京オリンピックを目の当たりにした事も含め、活気に溢れた駐在生活でした。

8年ぶりの海外駐在となる今回のベトナムも国民の平均年齢が若く(33歳)、且つ2030年に向けて政府は来年以降毎年GDP成長率10%以上を計画しているまさに昇龍の国です。(2025年は8%目標) 2018年と2019年の2年間毎月ベトナムには出張しておりましたが、その当時にも増してスピード感、強い意思決定が求められると思います。

潜在能力溢れるベトナムで自分自身の今まで経験した事を余すところなく発揮しマルカベトナム社員と共に、自分自身も更なる成長の階段を上りたいと考えております。

最後になりましたが、コロナ渦以降の大変な状況の中で色々とお指導いただいた関西のユーザー様の皆様に感謝申し上げます。世界は繋がっています。ベトナム進出やベトナムよりの調達をご検討の際は是非ともマルカにお声がけいただけますと幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

新規開拓賞受賞者インタビュー

金賞



保険部
佐竹 弘光

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
3年連続での「金賞」を獲得することが出来て嬉しく思います。
昨年来実施している「業務改善報告制度」も軌道に乗り、新規開拓に邁進できる環境を創出できていることに感謝しています。
- 苦労したエピソードはありますか。
建設機械本部と保険部の仕事を高いレベルで両立させることに奮闘しました。建機のマーケティング活動が即、保険営業に繋がるよう顧客個社への提案内容を（ハード）建設機械と（ソフト）保険リスクマネジメントを融合させることで、顧客利益の代弁者としてのコンテンツになるよう注力しました。
- 今後の抱負をお願いします。
古代ローマの哲学者であるセネカの言葉で、「幸運は準備と機会が巡り合ったときに訪れる」があります。常に自分を取り巻く環境・事象の因果関係を観察しチャンスが到来した時には素早くこれをキャッチする。そうした準備があつてこそ成功に繋がると信じて業務に邁進して参ります。

金賞



PT. UNIQUE SOLUTIONS INDONESIA
吉澤 祥太

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
USIIはエンジニアリング会社の為、各部署との密な連携が不可欠です。
各社員の日々の努力が、金賞受賞という結果で形になったことはよかったです。
個人ではなく、USIを代表してという気持ちです。
当然ながら、お客様及び協力会社様があつてのことですので、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
- 苦労したエピソードはありますか。
適切な仕様とコスト計算をしつつ、迅速に見積りを提出する必要があり、本来の意味で見積もりをする難しさを感じています。
- 今後の抱負をお願いします。
USIIは設立5年目を迎え、まだまだ課題がありますが、確実に日々前進しています。
今後のお客様にとって価値のある提案を行っていき、その結果として2025年度も受賞できるよう尽力いたします。

金賞



PT. MARUKA INDONESIA
中野 拓未

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
インドネシアに赴任して、2度目の金賞を受賞させて頂き、光栄に存じます。
今まで取引が無いor途切れていたお客様から注文を頂けるのは、いち営業として感無量であり、大変ありがたく感じています。改めまして、お取引先様には感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 苦労したエピソードはありますか。
インドネシアに赴任早々の現地仕入先との打合せや立会です。
インドネシア語が殆ど分からず、当時は翻訳ソフトを駆使しましたが、お客様の要望を上手く伝えられず、コミュニケーション面で不便な思いをさせてしまった事は、申し訳ない限りでした。
- 今後の抱負をお願いします。
自分の存在意義を認めて頂ける会社、人を少しでも多く増やせるよう、精進して参りたいと存じます。

金賞



大阪産業機械第二部
木村 健吾

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
マルカに入社して10年目となり、金賞を取ることを、1年間の目標としていた為、達成できた事は素直に嬉しいです。
今回ご購入頂いたお客様、ご要望に対応頂いた仕入先様、ご協力・フォロー頂いた社内の皆様に感謝申し上げます。
- 苦労したエピソードはありますか。
お客様が求めておられるご要望を把握する事、また要望に応じていく事に苦労しました。初めましてのお客様とのお取引は、設備投資案件を頂いた際、金額・納期・設備仕様・サービス等、何を一番求めておられるのか面談の中でヒアリングする事、そして、時には厳しいご要望に応える為、メーカーの方に協力頂き、取り纏めていくことが、一番注力した苦労でした。
- 今後の抱負をお願いします。
今回金賞を取るまでの過程で多くの事を学ぶことができました。
引き続き新規開拓賞を狙っていきたいと思います。

銀賞



保険部
宇都 茂樹

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
この度は、新規開拓賞『銀賞』を受賞し、大変光栄に思っております。
支援をしていただいた部署のメンバー、仕入先にとっても感謝しております。
また、いいお客様とご縁があり、大変嬉しく思います。
- 苦労したエピソードはありますか。
お客様の要望をしっかり聞き取り、その要望に応えることに注力しました。
そのために、お客様から多くの情報をいただく環境づくりに工夫をしました。
- 今後の抱負をお願いします。
何事も継続することが大事なので、これからも意識して取り組んでいきたいと思っています。

銀賞



東京産業機械第一部
高下 昇太郎

- 受賞にあたっての喜びの声を聞かせてください。
銀賞及び新人賞を受賞でき大変光栄です。
部という垣根なく、同期・先輩・上司・事務所の方々の手厚いサポートがあり受賞できたと思っております。
私は昔から運だけは良く、その豪運も十二分に発揮したと思います。
次は周りのサポートや運だけではなく、自分の実力をもっと上げて受賞したいと思います。
- 苦労したエピソードはありますか。
大なり小なり日々苦労しています。
海外案件の為替予約や延長、輸送等、わからないことだらけでしたが時差もある中フォローして下さった現地営業員の方には大変感謝しております。
国内外問わず、即レスできるように頑張りたいです。
- 今後の抱負をお願いします。
あと一歩のところまで金賞を逃したので、次は取れるように頑張りたいです。
部のメンバーも変わり、VUCAを身に染みて感じておりますが、日々、目の前のお客様に価値を提供できるよう精進いたします。

新規開拓賞受賞者インタビュー

銅賞



MARUKA INDONESIA
山下 知宏

■ 今後の抱負をお願いします。
大きく環境が変わった1年でしたが、社内外の多くの人たちに助けて頂き、受賞することができました。
この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。
今年も健康第一に、地道にコツコツと営業活動に励みたいと思います。

銅賞



Maruka Machinery Thailand
白井 真之

■ 今後の抱負をお願いします。
・社内外との連携を増やして、市場に求められるユニークソリューションを生み出す。
・直販商社の強みをデータ化することで、誰もがコト売りのできる組織にする。
・ライン設計から立上げ・アフターフォローまで。現場に寄り添ったエンジニアリングビジネスを行う。

努力賞



名古屋産業機械第二部
渡邊 健太

■ 今後の抱負をお願いします。
私は4月よりアメリカに駐在予定で、今年は私にとって挑戦の年となります。言語も文化も異なり困難に直面することが多々あると思いますが、私のモットーである「努力・挑戦」を大切にし、日本の営業で培った経験をもとに一生懸命仕事に取り組みます。

努力賞



金沢営業所
深水 亮

■ 今後の抱負をお願いします。
金沢営業所新規開設2年目でこの度受賞することが出来ました。
漸く、少しずつですが北陸でマルカを認知いただけてきたのかな、と思い今後の励みになります。常日頃からご助力いただいている方々への感謝を忘れず、将来多くの営業マンから「金沢に行きたい!」と希望がでるような拠点にするべく、真面目にコツコツと続けていきます。

努力賞



東京産業機械第一部
花登 駿也

■ 今後の抱負をお願いします。
43歳になりました。
昨年、人生初のぎっくり腰になり数日間ほぼ寝たきりの状態でした。
食事、トイレ、入浴等普段当たり前に出来ることか非常に困難でした。
歩いたり座ったり普段当たり前にしていることが普通に出来ることのありがたさを実感しました。
健康第一でがんばります。

努力賞
新人賞W受賞



東京産業機械第一部
蛇石 真人

■ 今後の抱負をお願いします。
絶対に受賞するという目標を掲げ、日々営業活動を行った結果、受賞することが出来ました。今年は、課長として部下と新規開拓賞をとり、一緒に表彰されることを目指しています。今年は、巳(へび)年なので、年男として精一杯頑張ります。

努力賞



東京産業機械第三部
佐野 力哉

■ 今後の抱負をお願いします。
将来の柱となるお客様を、新規メーカーで開拓できるように日々努力したいと思います。
若手と競い合って、負けないようにしたいと思います!!

努力賞



フードテックソリューション部
安藤 幹雄

■ 今後の抱負をお願いします。
皆様にご迷惑をお掛けしながらも目標とした2年連続での新規開拓賞をいただくことができました。2025年1月から食品事業本部となり、視野をより広く持ち、マルカの将来に大きく貢献できる仕事づくりと新規開拓に注力したいと思います。

新人賞



東京産業機械第三部
末吉 蓮

■ 今後の抱負をお願いします。
来年は10P以上で新規開拓賞を受賞できるように日々精進して参りますのでより一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。また、お客様、メーカー様と良い関係性を作れるように成長していきたいと思います。

新人賞



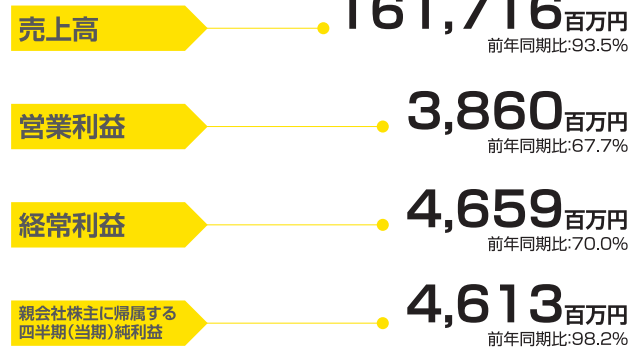
フードテックソリューション部
塚田 彩

■ 今後の抱負をお願いします。
3年目でTOYOの販売実績をつくる。新規開拓賞に入賞する。など、具体的な目標を持つことの大事さを学んだ1年でした。食品事業本部へ異動となり、一からのスタートとなりますが、目標を持つことを忘れず、着実に力をつけ今年も新規開拓賞を受賞できるよう努めて参ります。

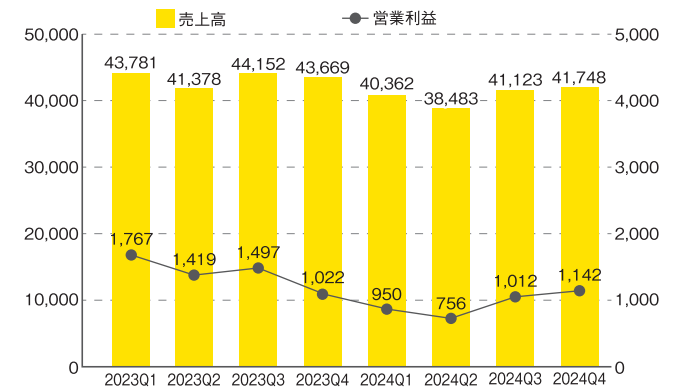
2024年12月期 決算発表を行いました

フルサト・マルカホールディングス株式会社の2024年連結会計年度の経営成績は、売上高は161,716百万円と前年同期比11,263百万円減(6.5%減)となりました。損益面では、営業利益は3,860百万円と前年同期比1,844百万円減(32.3%減)、経常利益は4,659百万円と前年同期比1,992百万円減(30.0%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4,613百万円と前年同期比85百万円減(1.8%減)となりました。

2024年12月期 連結決算サマリー



フルサト・マルカホールディングス 通期業績推移



マルカの動き

- 1/6 新キャンペーンオープニング
- 1/22~24 オートモーティブワールド出展
- 2/14 フルサト・マルカHD
2024年12月期決算発表
- 3/21 マルカ 四極会議
- 3/24 マルカ 定時株主総会
- 3/28 フルサト・マルカHD 定時株主総会



新規開拓賞 表彰式・祝賀会

2024年度 新規開拓賞 受賞者

金賞	保険部	佐竹 弘光
金賞	Unique Solutions Indonesia(USI)	吉澤 祥太
金賞	Maruka Indonesia(MI)	中野 拓未
金賞	大阪産業機械第二部	木村 健吾
銀賞	保険部	宇都 茂樹
銀賞	東京産業機械第一部	高下 昇太郎
銅賞	Maruka Indonesia(MI)	山下 知宏
銅賞	Maruka Machinery(Thailand)	白井 真之
努力賞	名古屋産業機械第二部	渡邊 健太
努力賞	金沢営業所	深水 亮
努力賞	東京産業機械第一部	花登 駿也
努力賞	東京産業機械第一部	蛇石 真人
努力賞	東京産業機械第三部	佐野 力哉
努力賞	岡山支店	斉藤 正隆
努力賞	フードテックソリューション部	安藤 幹雄

2024年度 新人賞 受賞者

新人賞	東京産業機械第一部	高下 昇太郎
新人賞	東京産業機械第一部	蛇石 真人
新人賞	東京産業機械第三部	末吉 蓮
新人賞	フードテックソリューション部	塚田 彩



UNISOLビジネスパートナーズ(株)
設立記念懇親会